

(児童数配布)



# 子どもに勇気と元気を！

先週は入学式、始業式がありました。新1年生を迎え、その他の学年も1つずつ上がり、新たな気持ちでスタートです。

この4月1日付けで校長として着任を致しました中森啓之（なかもりひろゆき）と申します。前任は豊南小学校です。校長を3年間務め、この度、緑地小学校に参りました。



さて、タイトルにあります「子どもに勇気と元気を！」について少し述べたいと思います。これは、私が緑地小学校に着任した折、本校の教職員に呼びかけた言葉です。学校においては、何をおいても子どもがいちばん大切にされなければなりません。子どもたちには、楽しく元気に学校に通ってもらいたい、また、学校が安心できる場所であると感じてもらいたい、と思っています。そのためには、子どもたちの前に立つ先生が、まずは明るく元気でなければなりません。そこで「先生から勇気もらった、先生と一緒にいると元気になる、このような先生になってほしい。」と呼びかけたのです。そして、教職員の同意を得て、職員室に「**教職員スローガン 子どもに勇気と元気を！**」と掲げました。もし、職員室にお越しになることがあればご覧ください。

ご縁があり、緑地小学校でお仕事をさせていただくことになりました。子どもたちのために、一生懸命に力を尽くして参りたいと思います。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

## ◇コロナ対策いつまで続くの？でも…。

保護者の皆様もご存知の通り、新型コロナウイルスの感染がなかなか収まりません。大阪府でも、いまだに連日、数千人の新規感染者が報告されています。マスクをずっと付けっぱなしの生活も、もうまる2年です。

私たち大人はいいのですが、子どもたちの2年は大きいです。子どもたちには、今しか経験できないことがあります。また、この時期にこそ経験すべきこともたくさんあります。当然のことながら感染対策は十分に施さなければなりません。その中でも、何とか工夫をして学校行事もやっていきたいというのが私の考えです。そのためには、保護者の皆様にも、ご理解とご協力をお願いすることもあるかと思えます。何卒、よろしくお願い致します。

それともうひとつ、新型コロナウイルス感染にかかわって、私が思うことがあります。感染したくない気持ちは誰も同じです。しかし、山奥で誰とも会わずに生活しているわけでもなく、思いがけず感染してしまうこともあるでしょう。そのために、あらかじめ自らの免疫力をアップさせておくことも必要なのではないのでしょうか。よく言われる「健康的な食事」「十分な睡眠」「適度な運動」です。「感染しない、感染させない。」に加え、「もし感染しても耐えられる身体を作っておく。」も、より積極的な感染対策だと私は考えています。このように子どもたちに声をかけていこうと思えますし、ご家庭のご協力もいただければ幸いです。

## ◇子どもたちに望むこと

私がこれまでずっと子どもたちにかけてきた言葉、それは「**自分を良くするのも自分、自分を悪くするのも自分**」です。自分の周りには、様々な人がいます。「こうした方がいいよ。」と、自分にとって大切なアドバイスをくれる人、また反対に、良くない道に誘ってくる人もいます。しかし、最終的に自分の行動を決定しているのは自分自身です。事がうまくいかなかった場合、全く自分のことは振り返らずに、全て他人の責任にする人がいます。でも、少しは自分にも責任はありませんか？貴重なアドバイスをくれた人も、きっといたはずですから。そのアドバイスを取り入れなかった自分にも責任はあるはずですよ。

どんな人の心の中にも、強い心と弱い心が混在しています。強い心が勝てば自分は良くなっていきますし、弱い心が勝ってしまえば悪くなるしかありません。どちらの心を勝たせるか、それを決定しているのは自分です。ということで、「**自分を良くするのも自分、自分を悪くするのも自分**」となるのです。

今回は、私が緑地小学校に着任しての第1号となりますので、私の考えばかりを述べましたが、これからは学校の様子、子どもたちの様子も交えながらお伝えしていこうと思います。お楽しみに。(なお、発行は不定期と致します。)